

二中プライド

大丈夫 自分を信じよう

小平第二中学校便り3月号2
令和5年3月24日発行
小平市立小平第二中学校
文責 校長 吉田 功

学校公式
ホームページ



生徒の活躍

教育委員会表彰

【水泳個人】

第46回
関東中学校水泳競技大会
男子200m個人メドレー
1年

【テニス部】

令和4年度 第75回
関東中学生テニス選手権大会兼
第2回関東中学校体育大会テニス
大会
女子ダブルス
3年
3年

第49回 全国中学生テニス選手
権大会
男子ダブルス
2年
2年
男子団体
男子テニス部

【バドミントン部】

令和4年度 第53回
関東中学校バドミントン大会
男子ダブルス
3年
3年
3年
3年
男子団体
男子バドミントン部

副読本『考えよう！わたしたちの 快適な住まい』

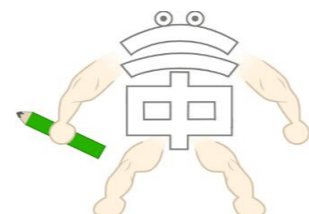
第27回独語感想文コンクール入賞

銅賞
佳作

小平二中キャラクタープロジェクト結果発表

投票の結果、二中の公式キャラクターが決定しました。
【にちゅまる】と【ニチュー】です。これから様々な紙面に登場する予定です。

にちゅまる



ニチュー

1年間、ありがとうございました

校長 吉田 功

WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で日本の侍ジャパントップチームが3大会ぶりに優勝し、日本中が沸いています。監督である栗山英樹さんは、本校の卒業生であり、昨年12月に来校され生徒たちに講演をくださいました。今回の優勝は、生徒たちにとって一層の励みになったに違いありません。満開になった校庭の桜が優勝に花を添えてくれているようです。

さて、昨年4月に小平二中に着任し、もうすぐ1年になります。今年度の取組状況と今後の対応についてお知らせいたします。

<学習面>

学習面では、大きく学校全体の取組と長期欠席生徒への対応の2つに分かれます。

まず、学校全体の取組としては、授業の基本になる「二中スタンダード」（時間を大切に、授業のめあてや流れを提示する、ICT機器を活用するなど）を教員に示し、実践しました。また、教員の授業力向上策として年3回の授業研修を実施し、全員が年に一度は授業を公開するようにしてきました。設備面では、授業で使うタイマーを全教室に配備しました。教員の授業力の向上と授業内容の充実は、次年度も継続していきます。

学習者用アプリ「Monoxer（モノグサ）」は、今年度、3学年で導入、活用してきました。先日22日に校内研修を実施し、効果について確認しました。現在、次年度の導入について検討しています。

次に長期間欠席をしている生徒に対しては、当該生徒の学習保障を目的として、無料の「eboard（イーボード）」を導入しました。登録者は13名でした。これは、登録しなくても問題を解いたり、授業動画を見ることができたりするので、一般生徒の復習用にも紹介しました。一般生徒の利用者数は把握できませんが、無料というところは魅力的なところですね。次年度も継続していきます。

あと、昨年度まで週1日だった個別教室を週5日まで拡大し開設しました。数は多くありませんが、学校を長く休んでいた生徒の登校の足がかりになっています。次年度も継続していきます。

<生活面>

生活面では、落ち着いた学校づくりが中学校での課題になります。特に先日卒業した3年生たちは、普段の学校生活を始め、RIKUTAIや修学旅行、合唱コンクールなど諸行事で、立派な姿を見せてくれました。「上級生がお手本になる」は、二中ブランドとして継承し下級生たちにも指導していきます。

生徒会活動では、二中キャラクタープロジェクトに取り組み、公式キャラクターができました。学校を紹介する場面で、活用していきます。学校だよりの別の欄で紹介しているので、ご覧ください。

その他、5月に「相談フォーム」を学校ホームページ上に設置し、学校に相談しやすい環境を整えました。その結果、これまで18件の相談があり、担当教諭につなげ対応することができました。

いじめは、年間で7件あり、その内6件が解決済み、1件が見守り中です。いじめ発見の多くは、年3回実施している「ふれあいアンケート」からです。

長期欠席している生徒数は、昨年度まで増加傾向にありましたが、今年度、増加傾向に歯止めをかけることができました。しかし、依然、人数が高止まっていることから、今年度配置された不登校加配の教員の活用を図り、登校できる生徒が増えるよう、あゆみ教室や本校の個別教室に足が向くよう努力していきます。今年度、個別教室の運用に向けた校内体制を整えました。

<その他>

学校への欠席連絡の方法として、フォームからできるようにしました。5月中旬から導入し、これまでの利用が累計で4000件を超えました。引き続き次年度以降も運用していきます。

あと、業務改善の一環として、今年度から学校だよりのや保健だよりのなどをデジタル配信にしました。年間で157kgの紙を削減することができました。しかし、紙ベースでの配付希望もあることから、次年度、学校だよりについては、紙ベースの配布とデジタル配信の併用で行います。

このほかにも、校内体制の強化に努めてきました。生徒・保護者、地域から信頼される学校になるよう、これからも努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年度でご退職、異動される先生方からコメントをいただきました。お世話になり、ありがとうございました。

【退職】

主任教諭(再任用)

村岡佐和子先生 小平市立小平第一中学校 非常勤教員へ

小平二中には2011年から3年間、そして2020年から3年間と2度お世話になりました。それぞれ大変な時期でしたが、G組での生活で大切なスキルを身につけ、成長していく生徒達の姿は感慨深いものでした。保護者の皆様には様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。

教諭(臨時的任用教員)

望月隼人先生 東久留米市立南中学校へ

私は小平第二中学校で一年間、勤務させていただきました。たった一年間ですが、数えきれない程の素敵な思い出ができました。小平二中で勤務できたことは私の「プライド」です。みなさんが輝かしい学校生活を送れることを、少し離れた場所から祈っています。

非常勤教員

高野宏之 先生

私はこれまで60歳での定年退職後、非常勤教員をプラス8年間やってきました。43年の教員生活でしたが、今年度で非常勤教員を辞することにしました。次はどんなステージが待っているのか楽しみでもあります。夢を持ち続けていきます。ありがとうございました。

特別支援教育専門員

稲村風駆 さん 江戸川区立瑞江中学校へ

初めて支援員として赴任しましたが、みんなが様々なことを経験して成長していくとともに、私自身もたくさん学ばせてもらった1年間でした。これからも二中生としての誇りをもって頑張ってください。

学習補助員・非常勤講師

尾川尚之 先生 オーストラリア メルボルン日本人学校へ

二中の生徒は挨拶がよくできる。挨拶がよくできるのは人として素晴らしい。だから二中の生徒は人として素晴らしい。二中で3年間皆さんと過ごして私が一番強く感じたことです。これからも元気な挨拶が響く二中を創ってください。

学習補助員

本間郁子 さん

2年間ありがとうございました。G組の生徒達はとても元気で仲良しのクラスで週に1日の勤務の私にも親切にしてくださいました。これからも健康に気を付けて楽しい学校生活を送ってください。

学校司書

松下和花子 さん 東大和市第三小学校へ

はじめての学校図書館勤務で何ができるのか手探りの日々でした。みなさんにどんな本が紹介できるかを考える時間、カウンターでたあいなやりとりをした時間、楽しかったです。ありがとうございました。

【転出】

副校長

西伸一郎 先生 武蔵村山市立小中一貫校 村山学園(武蔵村山市立第二中学校)へ

3年間お世話になりました。直接皆さんと関わる機会は少なかったですが、二中では、元気よく挨拶してくれる生徒の皆さんがいて、本当に素晴らしいと思います。これからも勉学や部活動など頑張ってください。ありがとうございました。

主任教諭(理科)

久松麻紀子 先生 豊島区立巣鴨北中学校へ

素直で明るく、爽やかに挨拶してくれる二中生と過ごせた7年間は、とても楽しく、幸せな毎日でした。中学校時代は大きく成長するチャンスがたくさんあります。挑戦する気持ちを忘れず、自分を大きく成長させてくれることを願っています。

主任教諭(国語)

江口清哉 先生 東村山市立東村山第七中学校へ

6年間ここ小平第二中学校でお世話になりました。多くの先生方、保護者の皆様、そして生徒と出会いました。この出会いと、学びを次の舞台で生かしたいと思います。6年間、ありがとうございました。今後の皆様のご活躍を祈っています。

主任栄養教諭

仲川佑季子 先生 千代田区立富士見小学校へ

2月から温かい手作りの給食を提供できるようになり、「美味しかった」「おかわりした」といった声を聞けるようになりました。改めて毎日の給食の大切さを感じています。7年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

用務主事

天間 勝廣 小平市立花小金井小学校へ

私こと、3月15日を持ちまして小平二中を卒業させていただくこととなりました。学校業務員として7年間務めさせていただきました。在任中は至らないことが多々あったかと思いますが、皆様のご指導ご理解をいただき勤めさせていただきました。誠にありがとうございました。



「いじめ」防止等に関する基本的な考え方

いじめは、いじめを受けた生徒の権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成の重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危機を乗じさせる恐れがあるものです。いじめは、生徒同士の複雑な人間関係や心の問題から起こるものであり、いじめの芽はどの生徒にも起こりうる可能性があります。

いじめの発見・通報を受けた場合には、特定の教職員が問題を抱え込むことなく、迅速に組織的に対応し、いじめを受けた生徒を守り通すとともに、いじめを行った生徒に対しては、教育的配慮のもと、毅然とした態度で指導していきます。また、必要に応じて警察との連携も視野に入れ関係機関との連携を図り早期対応に努めます。

いじめ防止等のための取組は、早期発見として、担任をはじめ教職員による丁寧な観察やアンケート調査、スクールカウンセラーとの面談等による早期のいじめの実態把握、生徒・保護者が相談しやすい体制を作るとともに、学校全体でいじめに向かわせないための未然防止に取り組んでいきます。【副校長 西 伸一郎】